

一般質問 吉野一夫議員 1 項目を問う



吉野一夫議員

問 ふるさと創生事業の各取組を伺う。

答 従業員の確保、施設の有効活用をしながら積極定期に取り組んでいきたい。

問 バイオマス事業の中で現在考えている業務は。

答 バイオマス、入浴施設の概要は、延べ床面積 280㎡。15人浴槽が2槽。露天風呂は5人槽がそれぞれ2槽。ボイラーの規模は300kwを基準としたボイ

問 近隣県外の市町村にも募集をかける考えはあるか。

答 町内で確保が難しい場合は町外から積極的に雇用をしていく。また、町の関連する事業者にもその旨は協議しながら町の考えを伝えたい。

問 町内各施設の従業員確保対策を伺う。

答 町内のみでの人員確保は困難な状況にあるため、並行して首都圏での移住フェアや就職相談会などに積極的に出展し、人材の確保に努める。

ふるさと創生事業

問 冬季間閉鎖する考えはあるか。また、グラウンドと体育館が備わっているので、高校、大学の合宿や、農地を借りての農業体験などを行う考えはあるか。

答 冬季間の閉鎖はしない。グラウンド、体育館は有効に活用し、大学、高校を含

問 ふるさと体験交流事業はどのような運営方式を今考えているのか。

答 指定管理者制度を活用したい。また、町を含め、地元である湯原地区の方々のご支援、ご協力もいただかなくてはならないと思っている。

問 ボイラーの熱を活用したロードヒーティングなどの計画もあるのか。

答 国道に融雪延長180メートルを計画しており、現在町として県との協議の中で進めている。

ラーで、木くず炊きを想定している。

問 スキー場の夏季利用も再検討する時期に来ていると思うが考えを伺う。

答 夏季はコテージを中心としてキャンプ場を運営している。従業員の給料関係についてはそこで十分賄えるくらい収入があるとのことなので、当面はコテージ、キャンプ場を中心として、頑張っていたきたい。

問 スキー場を今後も維持していく考えは現在も変わっていないのか伺う。

答 冬季間の交流人口を拡大していくためにはスキー場はなくてはならない施設と考えている。

め各企業、団体にも利用していただけるような取り組みをしていきたい。農業体験は現在も実施しているのでこれを幅広く取り入れながら多くの方々に施設を利用していただけるように取り組んでいきたい。

一般質問 管原研治議員 2 項目を問う



管原研治議員

問 『行政の小売店対策』は。

答 調査資料を分析し、積極的に対応したい。

問 『パークゴルフ場増設のポイント』は。

答 湖畔環境を活かし、既存コースとの差別を図る。

問 コンビニがオープンし、地域の小売店に影響がでているが、今日まで小売店と話し合いはなされてきたのか。

答 商工会役員などの皆様と意見交換、協議を行ってきた。商工会でもミニスーパーに関する勉強会、ワークショップ開催など、地域課題の解決に取り組んで頂いた。年末年始に向けた小売店対策はあるのか。

答 産業活性化助成金、中小企業振興資金斡旋による利子および保証料の全額補てん制度を整備。商品券発行事業でも、いまだきキャンペーンやロクマルセールへの支援効果があった。

問 国や県に小売店を救済する制度はないのか。

答 規模や業務の拡大など積極的な取り組みへの支援制度はあるが、国、県、町に直接救済、補てん制度はない。

問 ミニスーパーの誘致で買い物弱者は救われたのか。小売店の生活権は壊れなかったのか。

答 政治的な判断で誘致したが、七割以上の方は何らかの恩恵があったと思っている。今後、行政や商工会として既存の店とどう取り組んで行くか対応したい。

問 資本力の小さな小売店に「小売店の才覚」との見解はいささか乱暴であり行政は誠意を以って関わる必要があるのでは。

答 現在商工会を通じ、各商店のアンケート調査を実施。資料を分析し指導や対応を積極的に実施したい。

行政の小売店対策

パークゴルフ場増設のポイント

問 将来とも長く利用いただけるコース設定が望まれるが増設の進捗状況とオープンの時期はいつ頃か。

答 将来とも長く利用いただけるコース設定が望まれるが増設の進捗状況とオープンの時期はいつ頃か。

問 コース内へ水路や池の設置も必要であり、オープンはいささか先んじたのではないか。

答 今後、堀の設置や砂を入れるような追加工事など、利用者の意見も聞きながらオープンした後に改善できることを検討し整備したい。

問 グラウンドゴルフ場の北側に既にオープン。長雨の影響で不良な部分もあるが、天候が回復すれば良い状況でプレーして頂ける。

問 コース内の湿地対策はどのように取り組んでいるのか。

答 ダム公園は本来河川敷なので、環境と共存しながら管理運営を行っていく。

問 増設コースのPRポイントはどのようなものか。

答 常にダム湖を一望しながらプレーできることで、既存コースとの差別を図っている。

問 コース内へ水路や池の設置も必要であり、オープンはいささか先んじたのではないか。

答 今後、堀の設置や砂を入れるような追加工事など、利用者の意見も聞きながらオープンした後に改善できることを検討し整備したい。

問 グラウンドゴルフ場の北側に既にオープン。長雨の影響で不良な部分もあるが、天候が回復すれば良い状況でプレーして頂ける。

問 コース内の湿地対策はどのように取り組んでいるのか。

答 ダム公園は本来河川敷なので、環境と共存しながら管理運営を行っていく。

問 増設コースのPRポイントはどのようなものか。

答 常にダム湖を一望しながらプレーできることで、既存コースとの差別を図っている。

問 コース内へ水路や池の設置も必要であり、オープンはいささか先んじたのではないか。

答 今後、堀の設置や砂を入れるような追加工事など、利用者の意見も聞きながらオープンした後に改善できることを検討し整備したい。